

## 穴水小学校 令和7年度学校評価(中間)結果報告

1学期の児童・保護者アンケートの結果をまとめました。これまでの取組を振り返り、今年度の後半に向けて、よりよい学校づくりにつなげていきたいと思います。保護者の皆様には、アンケート等にご協力いただきありがとうございました。

### 1. 学校評価アンケートの結果（保護者アンケート令和7年7月実施）

(A:あてはまる B:どちらかと言えばあてはまる C:どちらかと言えばあてはまらない D:あてはまらない)

#### 【安全・安心な学校づくり～関わり合いを大切にした学級経営・学校行事～】

	質問	A+B	課題⇒改善策
1	お子さんは、「学校が楽しい」と言っている。	93.0%	1. 2:肯定的が多い中、そうでないと答えた少人数の児童への支援 ⇒今後も、日々の授業や学校行事で活躍する場を大切にしていくと同時に、個別に良い変化を伝えたり困り感に寄り添ったりする。震災後のストレスを抱えている児童に対する配慮も継続し、カウンセラーによる個人面談や心のケアの授業を行っていく。
2	学校は、いじめや不登校、問題行動等の未然防止や早期発見に努めている。	95.3%	
3	学校は、子どもの安全に配慮した指導をしている。	98.8%	

#### 【確かな学力の育成】

4	お子さんは、「授業が分かりやすい。」と言っている。	98.8%	4:問われていることや条件に合った説明をする力
			児童アンケート・単元テスト結果 A+B
			算数の時間に進んで学習できた。 97.0%
			課題に対する自分の考えを書いた。 92.0%
5	学校は、漢字や計算などの基礎学力をつける指導に力を入れている。 (家庭学習、各種コンテストなど)	97.7%	自分の考えを相手が「なるほど・納得」になるように説明することができた。 86.0%
			単元テストで80点以上の児童の割合 70.4%
			⇒問題を読むときに具体的な場面をイメージしたり、条件を探したりする活動を大切にした授業づくり。
			6:家庭学習の定着
6	お子さんは、目標時間(1～4年・学年×10分+10分、5・6年60分)の家庭学習をしている。	67.4%	⇒質と量を考えた課題の提案や生活時間の使い方の指導、環境に合わせた家庭学習への取り組み方について指導の継続。

#### 【健やかな心身の育成～体力の向上・健康教育の充実】

7	学校は子どもの体力や健康について、学校だより、学級だより、保健だより等で保護者に伝えている。	93.0%	8:基本的な生活習慣の定着
			(生活リズムカレンダー目標達成率:87.6%)
8	お子さんは、早ね、早起き、朝ごはん等の生活リズムが身についている。	81.4%	⇒生活リズムカレンダーの取組の継続。
			項目の見直しにより、重点的な取組への声掛け。

			9:ネットの使用時間のコントロール ⇒実態調査、委員会等を活用した児童主体の取組。 (放送での呼びかけ等) 家庭と連携した取組の実践。 (ノーテレビ・ノーゲームデー・親子ネットルール)
9	お子さんは、家庭で決めたゲームやネットの約束を守っている。	59.3%	

#### 【信頼される学校づくり～地域・】

10	学校は、総会やお便り、HP等で教育方針や学校の様子を伝えている。	98.8%	10:現在の取り組みの継続 ⇒公開する機会を増やすことや、学校の様子を伝える工夫。
11	学校は、児童や保護者の相談に、迅速に対応や指導をしている。	100%	
12	お子さんは、家庭や地域であいさつをしている。	93.0%	
13	お子さんは、学校や学級の様子、友達関係などを、家族(誰でもよい)に話をしている。	89.5%	

## 2. 保護者の方からのご意見

プールの授業を増やしてほしい。基本的な泳ぎ方が身についていないし、水に慣れていないため、水難事故のリスクにつながる。

⇒今年度の水泳指導は、プールの改修工事の関係で7月からの限られた期間であったことや、児童の安全のため、雷注意報が発令された日は実施できなかったため、例年よりも1、2回少なくなった。次年度は、実施時期を早め、少しでも回数を増やし、子ども達が水に慣れ親しむことや、水に浮く・泳ぐなどの経験を十分にできるよう努めていきたい。

## 3. 学校評議員の方からのご意見・ご質問

・家庭学習時間は、リビング等でしている時間も含めてよいのか。

⇒学童で終わらせる等、どこでしていても家庭学習に含める。時間より早く終わる子もいるため、宿題の質や量を検討している。

・「授業が分かりやすい」について肯定的回答が高くてよい。

⇒昨年度と比較し、改善されている。授業中に児童がよく頑張っている。

・学力調査の結果から改善しようとしているだろうが、タブレットを使いどのように個別に対応しているか。

⇒隙間時間等に個々の弱いところを重点的に学習している。教師がそれぞれの考えを把握したり、表現を共有するときにも活用している。

・個別に対応できるものがあるってよい。基礎的なものも、活用的なものも大切である。ICTを使って学んでいくことは、子どもはうれしいと思う。

・向洋小との交流はあるか。

⇒器械運動交歓会等の行事で交流している。教員同士の情報交換も行っている。

この他にもたくさんのご意見や感謝の言葉をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

本当にありがとうございました。2学期もよろしくお願ひします。